

柳家花緑、藤井青銅とつくる 47都道府県の新作落語プロジェクト 第25回目はいよいよ「茨城落語」!

47都道府県のそれぞれの土地をデザインの視点で編集するトラベルガイド「d design travel (D&DEPARTMENT PROJECT 刊)」の発売に合わせ、各地を題材にした同時代の新作落語「47都道府県落語」を1県に1作ずつ、全県つくっていく「d47落語会」。

第25回目の今回は「茨城県」をとりあげます。2020年にビリ県を脱出した茨城県。果たして、「茨城落語」では、どう応援されているでしょうか。茨城の魅力の再発見も期待される落語会です。

当日は、「古典落語」と、新作の「茨城落語」を存分にお楽しみいただいたあとは、それらの噺を振り返りながら、柳家花緑と脚本家の藤井青銅らがトークショーを行います。

つきましては、貴媒体にて広くご紹介頂きますと幸いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

d47落語会 第25回「茨城県」

伝統芸能のススメ [番外編] **落語**

2021年4月15日(木)18:30開演

【会場】水戸芸術館ACM劇場

【料金】全席指定 / S席 3,520円、A席 3,000円 B席 2,500円

【演目】

- ①古典落語 ②新作茨城落語
- ③トークショー 柳家花緑、藤井青銅

聞き手：ナガオカケンメイ (d design travel 発行人)、
神藤秀人 (d design travel 編集長)

チケット一般発売：2021年4月3日(土)9:30～

【チケット取り扱い】水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

[電話] チケット予約センター Tel.029-225-3555

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

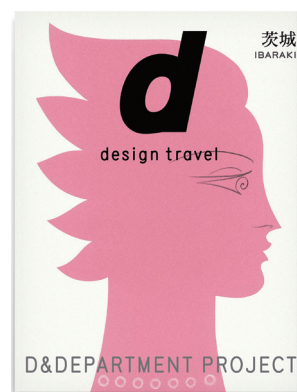
[Web] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

*感染症対策のため、座席数を制限して販売いたします。

*4月末に、オンラインでの有料配信を予定しています。
d47落語会の最新情報、チケット予約、オンライン配信については
www.d-department.comをご覧ください。

【共催】(公財)水戸市芸術振興財団、D&DEPARTMENT PROJECT

【協力】いばらき県中央地域観光協議会



*『d design travel IBARAKI』は、3/19(金)全国発売予定。当館ミュージアムショップでも取り扱います。

※公演詳細は別紙をご参照下さい。

企画について：水戸芸術館演劇部門 高比良 Tel.029-227-8123

掲載について：同 広報係 川崎 Tel.029-227-8111

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

都道府県落語、生み出し継承する。
47の日本の落語、それぞれの土地のために二人が生み出します。



【落語家】柳家花緑（やなぎや・かろく）

1987年、祖父・五代目柳家小さん入門。1994年、戦後最年少の22歳で真打昇進。スピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、古典落語はもとより新作落語も積極的に取り組む。番組司会やナビゲーター、俳優としても活躍。NHK『にほんごであそぼ』で紹介した「寿限無（じゅげむ）」は子供たちの間に大ブームをもたらした。



【脚本家】藤井青銅（ふじい・せいどう）

24歳で第1回「星新一ショートショートコンテスト」入賞後、作家・脚本家・放送作家として活動。脚本・演出・プロデュースを務めて腹話術師いっこく堂を売り出す。柳家花緑とは、2005年NHK『にほんごであそぼ』で知り合い、47都道府県の新作落語発表の活動とともにやっている。

d47 落語会、3つの演目。



～江戸から続く、粋な話～

演目1「古典落語」

まずは着物で一席。古典落語とは、一般に江戸時代から明治時代に作られたものを指します。d47 落語会では毎回古典落語を演じ、古くから親しまれる落語の魅力をわかりやすく伝えていきます。



～各都道府県に1つ、その土地の落語を～

今度は茨城県！

演目2「47都道府県落語」

二席目に新作、47都道府県落語を。洋服姿で椅子に座り現代の言葉で柳家花緑が演じる「同時代落語」に、藤井青銅によって47都道府県の「個性」が織り込まれた、全く新しい新作落語です。



～47都道府県落語をもっと楽しむ～

演目3「トークショー」

落語の後は、柳家花緑、藤井青銅、ナガオカケンメイ（d design travel 発行人）、神藤秀人（d design travel 編集長）の4人によるトークショーを開催します。